

重点取組分野	平成28年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	「資質・能力を育成する授業デザイン」をテーマに掲げ、子どもの実態をとらえ、身に付けるべき資質・能力を育成する授業の在り方を研究し、授業力向上、学力向上を目指します。また、朝のスキルタイム、読書タイムの拡充、各学年の発達段階に応じた家庭学習の継続により、学習の習慣化と基礎的・基本的な学習事項の定着を図ります。	年間8回の校内授業研究会と2回の公開授業研究会を通し、育成すべき資質・能力を整理し、授業の在り方を検証してきたことにより、授業改善が図られ、子どもの活用する意識も向上しました。スキルタイム・読書タイムの継続により、学習の習慣化と基礎的・基本的な学習事項の定着を目指しました。	B
豊かな心	平和スピーチコンテスト、人権トークを柱に、人を思いやることなど、人権について自分事として考えていける態度を育みます。また、道徳の授業を年1回以上授業参観にて公開することで、職員意識を向上させるとともに、保護者や地域の方にも学校での取り組みをご理解いただき、連携して教育活動に取り組んでいきます。	平和スピーチコンテスト、人権トークではそれぞれの学年で内容、テーマを設定することで、より子どもたちの成長段階に合わせた話し合い、取組みをすることができました。授業参観で道徳の授業を公開することにより、教科化される道徳での子どもたちに考えさせる内容や授業構成について一層理解を深めるきっかけとなりました。	B
健やかな体	・毎週金曜日の朝の時間を体力づくりタイムとして設定します。クラスごとに長縄に挑戦したり、持久走をしたりする取り組みを通して体力をつけていきます。 ・学校保健委員会では、「生活リズムを整える」をテーマにして取り組みます。そして、委員会で話し合ったことを各クラスに広め、その定着を目指していきます。	持久力の向上を目標に長縄と持久走を行い、長縄では学級で目標回数を設定したり休み時間にも練習したりと積極的に取組みました。マラソーカードにより取組の進み具合が自覚できました。学校保健委員会では「元氣カード」を用いて振り返りをし、遅寝遅起きや運動不足などの健康課題を改善するためクラスごとに取り組めました。	B
児童指導	岸谷スタンダードの細部までを職員が理解し、方向性を揃えて指導していきます。そして内容を丁寧に子ども達に指導します。職員で子どもの実態を共有する時間を増やし、課題が多いところや問題が起こりそうなどところについて、学校全体で改善することができるようにします。横浜プログラムを有効活用できるよう、職員の研修を行います。	児童指導部を中心に、児童の様子を月に1度確認し、情報共有していきましました。指導の改善が必要な場合には、組織でその改善策を図り、実施をしました。また、課題の大きい部分については、複数で対応するようにしました。スタンダードの内容が定着するように見直しを行い、共通理解を図り、指導の統一ができるようにしました。	C
特別支援教育	特別支援教育委員会を設置し、特別支援教育相談センター、通級指導教室、療育センター等他機関や学校カウンセラーと連携し、個々の特性や状況を的確にとらえ、効果的に適切な指導、支援を行える体制を整えていきます。また岸谷スタディー（個別学習・少人数グループ学習）を今年度より実施し、学習理解、学習習慣の定着を図ります。	特別支援教育委員会を中心とし、校内で情報を共有していく中で、関係機関とも連携が図られ、個に応じた支援、指導を組織的、継続的に行うことができました。岸谷スタディー（個別学習・少人数グループ学習）を今年度より実施し、学習理解、学習習慣の定着を図りました。	B
学校運営協議会	5月に第1回学校運営協議会を開催し、委員へ設置意図及びその役割を説明し、活動の方向性を確認します。また、人材を含めた地域資源をより効果的・効率的に学校運営に反映させていくための協議を行います。保護者からの授業評価や学校評価アンケートについて検討し、学校関係者評価の在り方も再検討していきます。	学校運営協議会では委員の方に設置意図や役割をご理解していただき、学校行事や土曜参観などでより良い学校運営に向けたご意見を伺うことができました。保護者アンケートでは、行事や授業での子どもたちの態度や教師の指導力について振り返ったり改善点を考えたりすることができました。	B
人材育成・組織運営	5年次以下の教員でステップアップチーム、その他の教員でキャリアアップチームを組織し、授業や研修を通して学習指導・児童指導に関するスキルアップを図ります。また、ステップアップチームは悩みを相談できるミーティングの場を設け、キャリアアップチームは月1回の不祥事防止研修を担当する等、キャリアステージに応じた取り組みを行っています。	ステップアップチームでは、日々の児童指導や学習指導などについての悩みを共有し、話し合うことで、次の指導に生かすことができました。キャリアアップチームは不祥事防止研修や実践研修などを担当することで、自身のスキルをさらに高めるとともに、他の職員にそれを伝え、全体のスキルアップにつなげられました。	B
ブロック内相互評価後の気付き	本年度、中学校土曜授業参観を活用し、中一を対象とした小学校教員による授業を行った。中学校教員にとって、同じ対象者へのアプローチの仕方・言葉かけ等参考になることが多かった。児童生徒理解及び小中の教師間の相互理解の視点では大きな成果を得ることができた。課題として、中学校の土曜授業への参加のため、小学校教員の勤務（振替等）、事前の単元計画・授業計画等の共有の必要性が挙げられた。中三の卒業期前に実施している、母校小学校への学習支援は、9年間で育てる子ども像の一端として、高い評価ができる。		
学校関係者評価	・学力状況調査の結果が平均点を超せばよいということではなく、経年の変化が向上することを目指していくのでよい。子どもが小さなつまずきをしたときに丁寧にフォローしていくことが大事である。 ・子どもはその成長過程においていじめの場面に会出うことは多い。自他を大切に思う気持ちを育てていく取組を継続して行ってほしい。 ・具体的取組を設定するにあたって、何がどの程度までできたときに成果としてとらえるのか、具体的な指標が必要である。そうすることで評価がしやすくなる。		

学校経営中期取組目標振り返り	「健やかな体」では、体力づくりタイムを毎週行うことで、児童の体力を向上させようという意識が育まれてきています。「学校保健委員会」については、全児童が自分事として取り組める課題を設定し、活発に取り組んでいきます。「児童指導」では、岸谷スタンダードを実施していますが、全体化されていないので、次年度は教師の共通理解を図った上で、学校全体に浸透させていきます。「学校運営協議会」を設置し、委員の方から行事や授業を参観していただき、より良い学校運営に向けたご意見を伺うことができました。また保護者アンケートからのご意見を検討し、次年度につなげていきます。
----------------	---

重点取組分野	平成29年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	b5		
豊かな心	b6		
健やかな体	b7		
	b8		
	b1		
	b9		
	b2		
	b10		
	b3		
	b11		
	b4		
人材育成・組織運営	b12		
ブロック内相互評価後の気付き			
学校関係者評価			

学校経営中期取組目標振り返り	
----------------	--

重点取組分野	平成30年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	c5		
豊かな心	c6		
健やかな体	c7		
	c8		
	c1		
	c9		
	c2		
	c10		
	c3		
	c11		
	c4		
人材育成・組織運営	c12		
ブロック内相互評価後の気付き			
学校関係者評価			

学校経営中期取組目標振り返り	
----------------	--